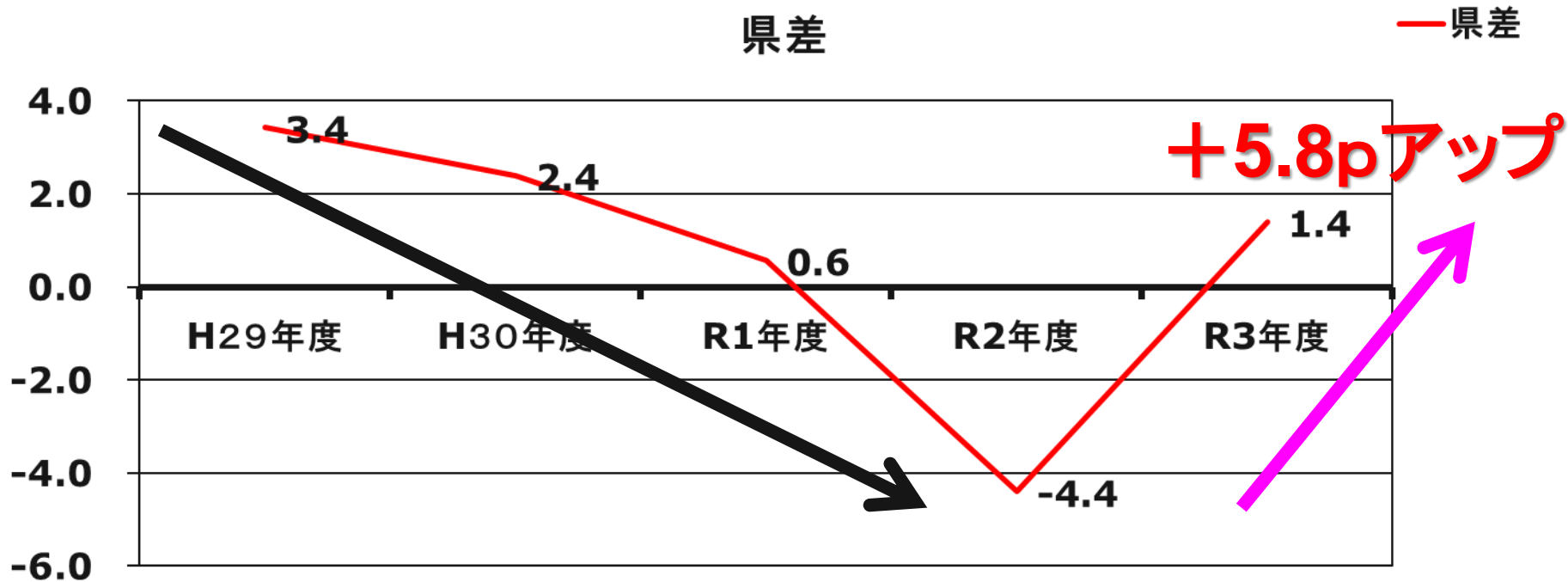


**R3年度
鹿児島学習定着度
調査結果、分析・考察
【平均正答率】
市・県との比較**

【小5】鹿児島学定調査結果の推移グラフ(H29~R3)



H29~R1年度までは県平均以上であったがその差は下降傾向。R2においては県平均を4.4p下回る結果。

R3は前年比5.8p上昇し、県平均を上回る結果となった。その要因を私たちは今年度の学力向上策を量的な側面(時間、回数、指導体制等)と質的な側面(取り組ませた課題等)から客観的かつ科学的に分析する必要がある。

令和3年度

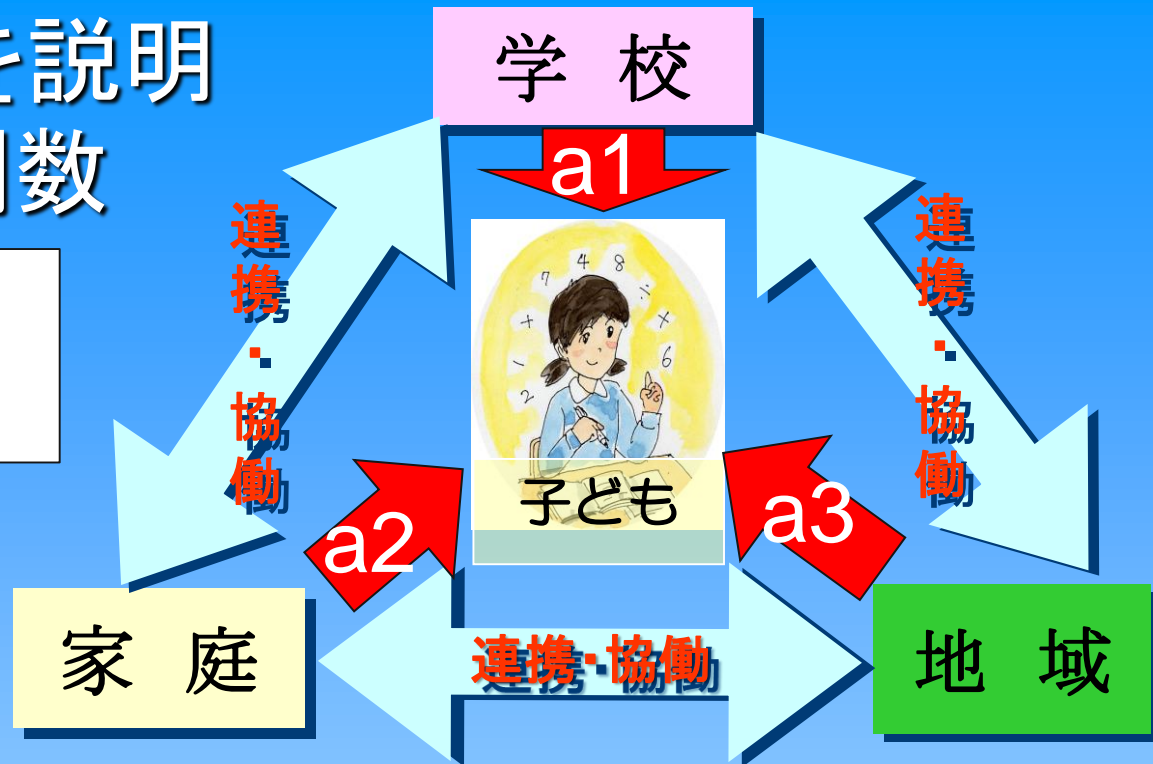
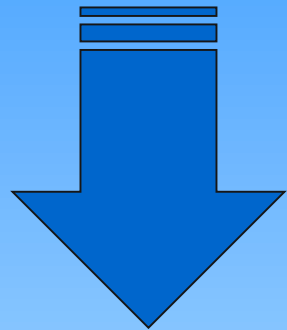
「チーム星峯西小」で

取り組む

学力向上の具体策

教育活動の成果を説明 するための一次関数

$$y = at + b$$



y: 今年度の教育活動の成果

a: (a1学校 + a2家庭 + a3地域)の教育力

t: (t1学校 + t2家庭 + t3地域)で関わる時間等

b: 前年度までの教育活動の成果

質
×
量

チーム星峯西で取り組む具体策

【学校の取組】

- ① **授業改善**（授業づくりの段階での事前指導）
※教師主導、教え込み型授業からの脱却
- ② **学力向上委員会**の定例化（月1回）※見届け
- ③ TT, 少人数指導などによるきめ細やかな**学力補充指導体制**の構築

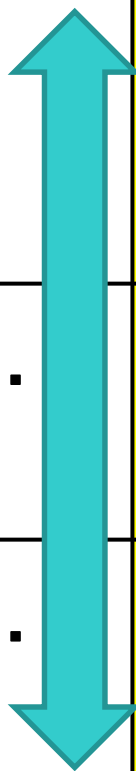
【家庭・地域との連携】

- ④ 全学年で**家庭学習ノート**を活用した積上げ学習
- ⑤ PTA共通実践事項として**ノーメディアタイム**と**早寝早起き朝ご飯**の実践化
- ⑥ スポ少・地域スポーツ活動と**家庭学習の両立**

【子ども・教科・学級レベル】学習課題の重点の置き方

子ども・各教科・学級・学校全体の平均通過率(上位層:平均以上、中位層:平均並、下位層:平均以下)に応じた学習課題をどのように与えたらよいか？

	【基礎・基本】 読み・書き・計算等の 知識, 理解, 技能等 A問題(主に知識)	【応用力, 活用力】 自ら考える力 思考・判断・表現 B問題(主に活用)	【その他】 家庭・地域との連携 学校の教育環境等
上位層 子ども・ 教科・ 学級	○	◎ 重点	◎ノーメディアタイム、早寝 早起き朝ごはん ◎うち読 ◎家庭学習ノートの有効 活用
中位層 子ども・ 教科・ 学級	◎ 重点	○	◎スポ少、地域スポとの 両立 ※家庭学習の課題も個 に応じて行う。
下位層 子ども・ 教科・ 学級	◎ 重点	※どれだけ個別最適 化された学習課題を 与えられるか。	・共通課題:基礎問題 ・個別課題:応用問題 自主課題 ※デジタルドリルの活用



**R4年度の学力向上策
全体計画における
基本的な考え方
(令和4年度版)**

「確かな学力」: 知育: 校訓かしこく

すべての教科領域で情報活用能力を基盤にして育成する

授業以外
(補充指導)

※全教科領域を研究対象にして全学年で実践する。手立ての有効性を検証し、体系的にまとめていく。

関連

授業改善

付け

家庭学習

※矢印部分も研究対象となる。授業づくりを中心として学年、発達段階、教科、領域、教材等で違いがあるのかを実践検証していく。

関連付け

関連付け

デジタル学習指導 (学習者用デジタル教科書、タブレット端末、デジタルドリル、AI教材、ロイロノート、テレビ会議システム等)

アナログ学習指導 (紙の教科書、ドリル、教科用ノート、家庭学習ノート等)

R4年度 P:計画 諸検査等の目標(目標値)

■ 確かな学力の定着

令和3年度 教育課程の記述から引用

(1) 学習指導の充実

※新学習指導要領の実践

◆調査の結果分析と対応策の策定・実践

○全国学テ・鹿学習定着度調査・NRT

◆基本型の徹底

○西小ペーシックの継続的な運用

◆家庭学習の充実

○【学年×10分+20分】

◆目標値、手段、形態の試行と実践

○単元、学期末テ85点・漢字力計算力の定着90%以上・NRT偏差値54・アンダーアチーバー0をめざす

◆情報教育の充実(教育の情報化:鹿市)

◎学力向上〔重点取組事項〕

全学年:家庭学習の充実

学年×10分+20分

※平均時間と達成者率の把握

全学年:単元、学期末テスト、漢字力・計算力の定着

※ 単元、学期末テスト85点以上

※ 漢字力・計算力の定着90%以上

対象学年:標準学力検査

※ NRT偏差値54

※ アンダーアチーバー0

5学年:鹿児島学習定着度調査

6学年:全国学力・学習状況調査

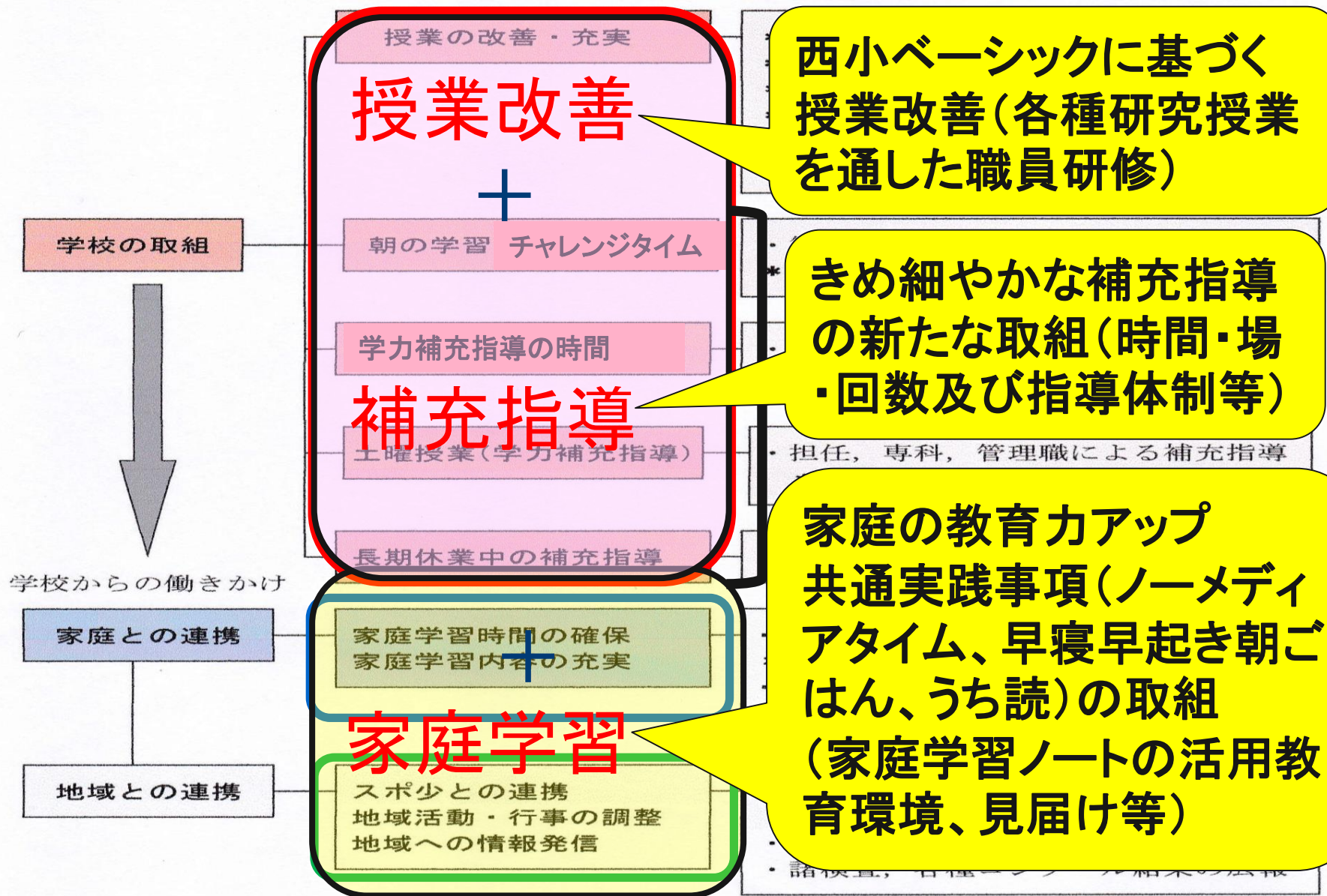
※ 県平均以上

※ 全国平均以上

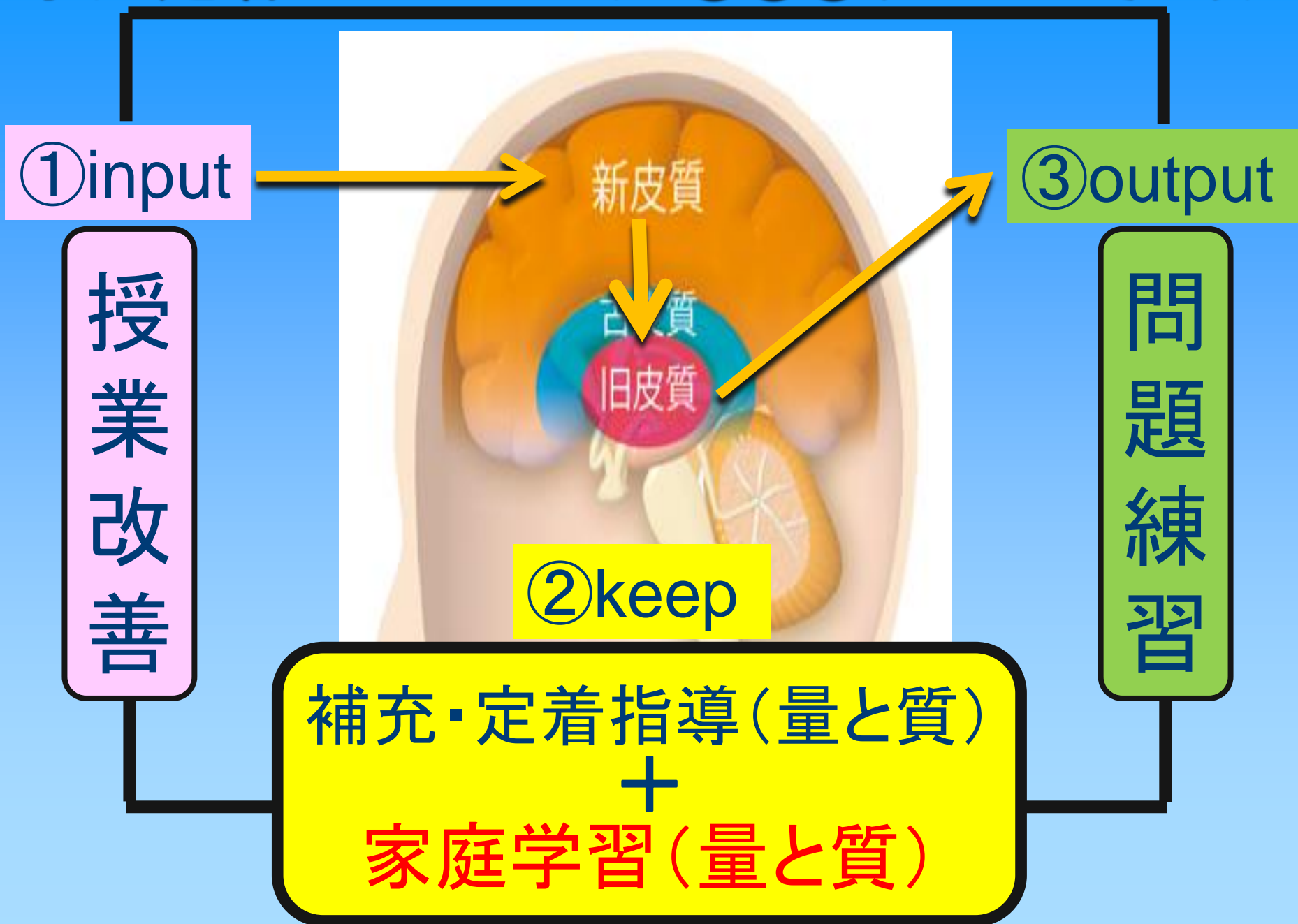
R4年度 P:計画 学力向上全体構想(具体策)

* 教科指導の質と量：指導内容・技術の向上と指導時間の確保

* 全校一体となった組織的な取組 * チームによる指導体制の確立と徹底した取組



学力定着のプロセス(※①②③すべてがそろおう)



令和4年度 学力向上全体計画

第7回学力向上委員会 令和4年度版(案) 令和4年2月21日

NRT、鹿児島県学習定着度調査、全国学力・学習状況調査に向けた具体策

(1) いっ

◆ 正課授業・・・国語(週5時間)担任指導*書写は専科(新設) 社会(週4時間)担任指導 算数(週6時間)担任指導*少人数指導(解説) 理科(週3時間)専科指導

◆ 朝の学習

曜日	月	火	水	木	金	土
8:25～8:30	移動					
8:30～8:35	①全朝	仲良し読書	チャレンジタイム	仲良し読書	仲良し読書	仲良し読書
8:35～8:40	②③④チャ					
8:40～8:45	④音朝					

【改善案】

曜日	月	火	水	木	金	土
8:25～8:30	移動					
8:30～8:35	①部活	ベーン	仲良し読書	ベーン	仲良し読書	朝なし1校時
8:35～8:40	②③時給	ック		ック		チャレンジタイム
8:40～8:45	④ハートフル	タイム		タイム		チャレンジタイム

R4～新規*火・木曜日のベーンタイム→取り扱う教科、内容、方法検討
新規*土曜校時のチャレンジタイム→

◆ 学力補充指導の時間

*月～金曜日の週時程には特設はせず、予備時数を使い、担任裁量で対応する。ただし、第2土曜日がそれに替わる時間となる。課題プリント等は、学年で共有して同じように活用する。

◆ 土曜授業の学力補充指導(第2土曜日:午10時～3時間のうち1時間)

R4～新規*1校時:1,2年生 2校時:3,4年生 3校時:5,6年生
*対象学年を分散することで複数教師の指導体制が可能

◆ 夏季、冬季休業中の希望者への個別の指導

*全学年で個別指導、理科教室、絵画教室、作文教室などを実施できないかを検討→指導した作品をコンクールの出品、入賞に結び付ける。

◎ 家庭との連携(家庭学習の確保と習慣化)

R3～家庭教育力アップ共通実践事項ノーメディアタイム、早寝早起き新ごはんの取組によって家庭の教育環境の改善・向上を目指す。
既存:家庭学習日長時間:学年×10+20分確保と日課達成率の把握
Googleフォームによるアンケート集約→学級PTAでの協議、結果データのフィードバック→保護者の理解と協力

ノーメディアタイムの実現(○中、○小)

○小・中・高学年別家庭学習の目安時間

学年	10分	20分	合計
1年生	40分	30分	70分
2年生	40分	30分	70分
3年生	60分	30分	90分
4年生	60分	30分	90分
5年生	90分	30分	120分
6年生	90分	30分	120分

家庭学習60・90(みくまる)をどう活用... 県PTAの取組

◆ 具体策に関するイメージ等

◆ 小学校専科指導追加(2)

- 音楽専科(3～6年)
- 理科専科(4～6年)

◆ 定数専科(2)

- R4 新設:英語専科
- R4 新設:書写専科

◆ 朝のチャレンジタイム

【教科書19年度版から20年度版へ移行に伴う学習指導要領改訂の対応】
2021年度版から2022年度版へ移行

【教科書19年度版から20年度版へ移行に伴う学習指導要領改訂の対応】
2021年度版から2022年度版へ移行

【教科書19年度版から20年度版へ移行に伴う学習指導要領改訂の対応】
2021年度版から2022年度版へ移行

【教科書19年度版から20年度版へ移行に伴う学習指導要領改訂の対応】
2021年度版から2022年度版へ移行

(2) 何を ※非0b問題、学習プリント問題、デジタルドリルの活用

- 国語(動詞、動詞、動詞)一過去問題、アシストシート等(漢字、文法)→これまでに習った漢字、文法問題
- 社会(学習の要点まとめ、自作問題による練習)
- 算数(テスト結果に基づく個に応じた問題練習、ドリル)
- 理科(学習の要点まとめ、自作問題による練習)
- * 昨年度までの県学習定着度調査(12月中旬実施予定)

R4～新規:デジタルドリルの有効かつ効果的な活用方法
アナログ学習指導(計算ドリル類、漢字ドリル類)とデジタル学習指導の有効な組み合わせ方等については、来年度の職員研修(全体研修)で実践を通して検証していく。

(3) どのように(指導方法、分組等)

- 正課授業(国語、社会、算数;担任、理科;専科による指導)
R4～新規:来年度の専科担当計画(案)を参照
- ベーシックタイム(担任、専科、管理職などTT体制)
R4～新規:毎週水曜日 15分×35回=525分
R4～新規:毎週木曜日 15分×35回=525分 計1050分
- 土曜日●校時チャレンジタイム(担任、専科などTT体制)
R4～新規:第2土曜日 45分×10回=450分 計450分

(4) その他

R3～○ 学力向上委員会
新規:学期1回から委員会後に月1回に変更
一指導状況とテスト結果報告、家庭学習平均時間及び達成率の状況、学力検査結果の分析及び今後の対策等の協議、共通理解

R3～○ 学校における教育活動、教育環境、提示等の充実
家庭学習ノートの全学年提示→校長室前の掲示板に提示
模範的な家庭学習ノートを提示。低・中・高学年の系統的な指導を行い家庭学習の質と量のレベルの参考とする。
※R4教育課程にも家庭学習の模範的な例を入れるとともに、保護者へも第1回PTAの際に各学年の家庭学習の状況を提示。
継続○ 学習のしつけ(発表型、聞き方、姿勢など)の徹底:授業の基礎を徹底する。学期始め1週間は学習のしつけの徹底週間を設定
継続◎ 家庭学習ノート(低中高用)→家庭学習平均時間と達成率70%以上全学年漢字、日記、読書(3点セット)を必ず課題に課して提出
目安時間:学年×10+20分の時間に適した分量の課題

令和4年度学力向上委員会 2022年2月21日

令和4年度学力向上委員会 2022年2月21日

令和4年度学力向上委員会 2022年2月21日

令和4年度学力向上委員会 2022年2月21日

◆ きめ細やかな指導体制

令和4年度学力向上委員会 2022年2月21日

令和4年度学力向上委員会 2022年2月21日

令和4年度学力向上委員会 2022年2月21日

令和4年度学力向上委員会 2022年2月21日

◆ 1年から積み上げていく継続性を重視した家庭学習

令和4年度学力向上委員会 2022年2月21日

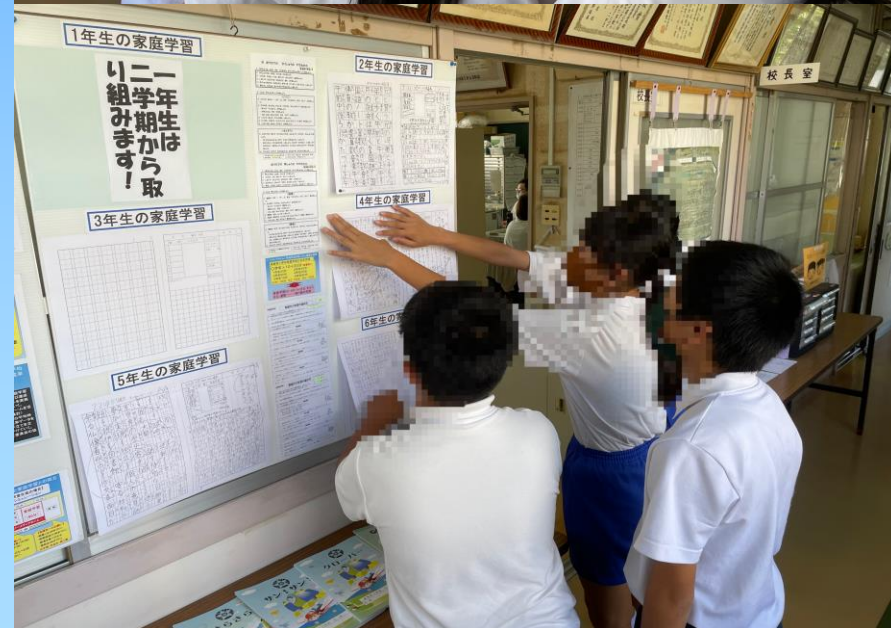
家庭学習ノートの活用 (質・量の向上策)

※基礎学力(漢字・単語・日記・計算等)
の確実な定着に重点を置いた取組

※アナログとデジタル学習の融合

- ① 家庭学習強調週間の設定
- ② 家庭学習課題(量と質)の与え方
- ③ 確実な見届け(担任・保護者)
- ④ 家庭学習時間の把握(諸検査等)

全学年で取り組む自作の家庭学習ノート



各学年の子どもたちの家庭学習ノート模範的な例

1年生の家庭学習

2がつ 10にち 木ようび

けいねのしくおどってくださいね
ちよつと、はずかしがりな人もいます
ろかっただです。
してもり上^あがって、とてもおもしろ
みんなでうたったりおど
がえって、びっくりしました。
した。みんな、いいおどりをかん
うにおどりをかんがえるばしょ
とうたうところは、じぶんでじゆ

2がつ 10にち 木ようび

みんなでおどったよ
中山こはな
わたしは、十日に、学校で、先
生や一くみのみんなと、おんがく
のおべんきょうをしました。
とんくるりんぱんくるりんとい
ううたのおどりをかんがえました。
みんなでおどろう

各学年の子どもたちの家庭学習ノート模範的な例

2年生の家庭学習

漢字お手本番号(ひんかのふんぱん)②

顔	朝	人	後	毎	何
が	と	間	で	日	か
明	昼	何	下	半	外
る	当	時	山	分	に
見	番	下	す	食	る
回	歌	り	市	べ	大
る	声	下	場	金	切
首	春	る	の	魚	風
道	夏	上	道	は	車
草	秋	る	は	に	午
す	冬	理	り	親	前
船	下	ゆう	家	し	中

1月13日 木曜日 天気 晴れのち雨

文づくり

きょうか	じゅんぴ	しゅくだい
1		1きらきら
2		2音 読
3		3プリント()
4		
5		字しょう時間
6		60分

くしい。ビュッはうつ

雨楽あ楽まよしかけわ
 今週はふらないとす。りたす。雨がふつて
 楽ししたかもやりました。雨がふつて
 楽したかもやりました。雨がふつて
 ましたか。うた。のさし今日
 よし。たす。雨。んたまし
 かけたい。うた。のさし今日
 かけたい。うた。のさし今日
 かけたい。うた。のさし今日
 かけたい。うた。のさし今日

つかったかん字()字

各学年の子どもたちの家庭学習ノート模範的な例

3年生の家庭学習

very good!!

局	神	る	は	る	対	一
暑	様	一	は	校	電	等
中	薬	月	の	内	波	は
運	箱	二	は	放	を	る
転	を	十	速	送	受	法
他	開	日	か	い	が	信
人	に	学	流	算	湖	注
馬	湯	生	校	の	数	意
買	を	ま	の	正	の	道
投	あ	れ	正	月	打	勉
手	か	る	門	張	つ	強
軽	都	サ	から	は	を	反
食	者	ッカ	入	は	女	未
	の	カー	入	は	女	未
	の	の				

2月	2日	水曜日	天気	くもり	文作	リ
教	科	じゅんび	しゅくだい	はなまるスキ ル四回	1 サン!サン!	字 を 書 く。
1			2 音	2 つたあ る表	2	あ た し い は 正 し い
2			3 プリ	3		
3			4 宅習	4		
4			家の人のしるし			
5						
6						
(れんらく)						

せんた
く物
がわ
く
ので
す
きり
し
ま
す
!!

先生も
晴れ
の日
が大
す
き
です
心

か
あ
た
し
は
と
て
も
大
す
き
です

え
顔
は
な
れ
る
か
ら
大
す
き
です

明
る
く
て
元
気
に
な
る
し
と

す
き
な
理
由
は
晴
れ
だ
と

す
き
な
天
気
は
晴
れ
て
す

か
あ
た
し
の
す
き
な
天
気
を
し
た
と

か
あ
た
し
の
す
き
な
天
気
を
し
た
と
字
は
正
し
い
と
使
っ
た
字
は
正
し
い
と

各学年の子どもたちの家庭学習ノート模範的な例

4年生の家庭学習

3

小	副	松	何	半	菜	気
川	議	たけ	さう	分	種	温
わが	長	松	も	に	油	が
家	国	竹	読	折	を	変
右	会	梅	む	る	使	化
折	議	不	昼	道	う	する
と	員	思	飯	を	話	信
左	百	議	の	右	が	号
折	家	不	した	折	続	が
松	家	気	こ	する	く	変
く	不	味	飯	種	セフ	わる
続	思	な	茶	く	続	種
く	議	音	わん	的	する	類

9月24日 金曜日 天気 ☀		文 作 り
教 科	準 備	家庭学習
1		1 クローバー
2		②音こ(93) 読
3		③プリント(2)(4)
4		4ドリル()
5		5宅習帳
6		⑥学習時間(分)
連絡欄	<p>「手先が梨央はまようだね。」 と言われました。姉といっしょに作った物は最高 本業にすこし物を作りますよね。 びくりします。</p>	
題名	<p>折り紙 (目)</p> <p>私は、最近折り紙にハマっています。 足をけがしたから外遊びができません。 この前、ちゅうせんをきくとおんないさんが いたので折り紙を作っていました。はまっ 目曜日は、六つ七個作っていました。 姉に作り方を教えた。</p>	

私は、姉におこられた
 時に「お姉ちゃんめ」と思
 った。

各学年の子どもたちの家庭学習ノート模範的な例

5年生の家庭学習

(No.56)

山脈	教授	責任	を証	する	南極	練習
組織	の	を	明	び	大	の
織	話	果	す	米	陸	効
の	を	奪	小	の	雨	果
構	成	均	生	産	雲	人
を	旅	気	に	量	の	口
見	直	紀	を	増	減	計
す	行	調	委	加	少	自
建	文	高	大	長	実	保
築	高	大	長	実	保	環
する	い	学	の	力	護	境

11月19日 金曜日 天気		文作り	
教科	準備	家庭学習	
1	家庭	①GOIGOI5★	
2	こ	②音カマジー読	
3	体育	体育服	③プリント(まい)
4	学活	発当	×宅習帳
5	図工		5学習時間()分
6	図書	保護者サイン	重留
<連絡>			

私に命を大切にしてください。

命

い	て	せ	れ	が	ち	れ	い	北	い	十	習
ま	結	い	て	ま	速	い	走	会	令	一	陸
す	果	い	い	い	い	い	走	に	が	日	上
	が	は	て	た	人	て	ま	り	出	あ	の
	ま	あ	げ	も	く	が	ほ	だ	が	場	り
		つ	り	い	分	た	し	分	出	し	ま
		て	ま	走	選	か	く	い	か	来	ま
		い	せ	る	ば	ら	さ	さ	り	た	し
		る	ん	え	れ	な	ん	す	ま	と	た
		こ	。	と	て	い	い	。	せ	思	。
		と	あ	が	い	て	る	て	ん	い	自
		な	と	て	な	す	の	も	が	ま	分
		祈	は	き	く	。	て	。	す	な	メ
		?	た	て	選	結	他	選	。	リ	く
		て	い	の	も	は	果	に	ば	夕	の

①E記

測定会おっかしさま!

各学年の子どもたちの家庭学習ノート模範的な例

6年生の家庭学習

協業秘尊三護体国
 奏員境敬権著験宝
 曲従を自分者貴の
 郵順訪尊立著族寺
 便従ねる心練書院
 局来秘分習著金宝
 郵の策担の名人属石
 送方神担効人貴重財
 郵式秘任果尊利品宝
 便演指担尊利品宝探
 物奏示当い基著作し
 郵合に負精本作権貴
 便奏従担神精神尊人重
 番独う秘密重尊人権保
 号奏従密重尊人権保

11月5日 金曜日 天気くも			文作リ								
教科	準備	家庭学習									
1 算	はし	①Mxofve									
2 国	図書	②音 読									
3 者		③プリント()									
4 社		④宅×習1帳									
5 学		⑤学習時間(85)分									
6 本											
<連絡>		保護者サイン									
		M流									
る	こ	援	て	で	ら	レ	ん	で	と	標	題名
こ	小	と	団	も	で	に	1	で	そ	が	運
と	学	か	の	良	ギ	た	ど	で	し	た	動
が	生	で	仕	か	リ	か	ち	A	た	か	会
で	最	き	事	ギ	ら	ら	も	・	・	も	で
さ	後	も	た	リ	で	も	B	な	そ	ち	は
ま	の	良	最	で	三	す	三	も	ぜ	れ	・
し	運	か	後	す	位	・	分	ダ	な	だ	赤
た	動	・	ま	・	に	僕	台	ン	ら	け	組
・	会	た	で	し	残	は	を	ト	・	で	全
	を	で	や	・	れ	短	だ	ツ	学	は	優
	充	す	り	か	た	さ	す	一	級	あ	勝
	実	・	終	り	の	よ	こ	位	対	り	が
	さ		え	と	で	り	と	・	抗	ま	喜
	せ		る	応	と	走	か	さ	り	せ	ぶ
											こ
											目
											漢
											使
											った
											(五十五)
											字

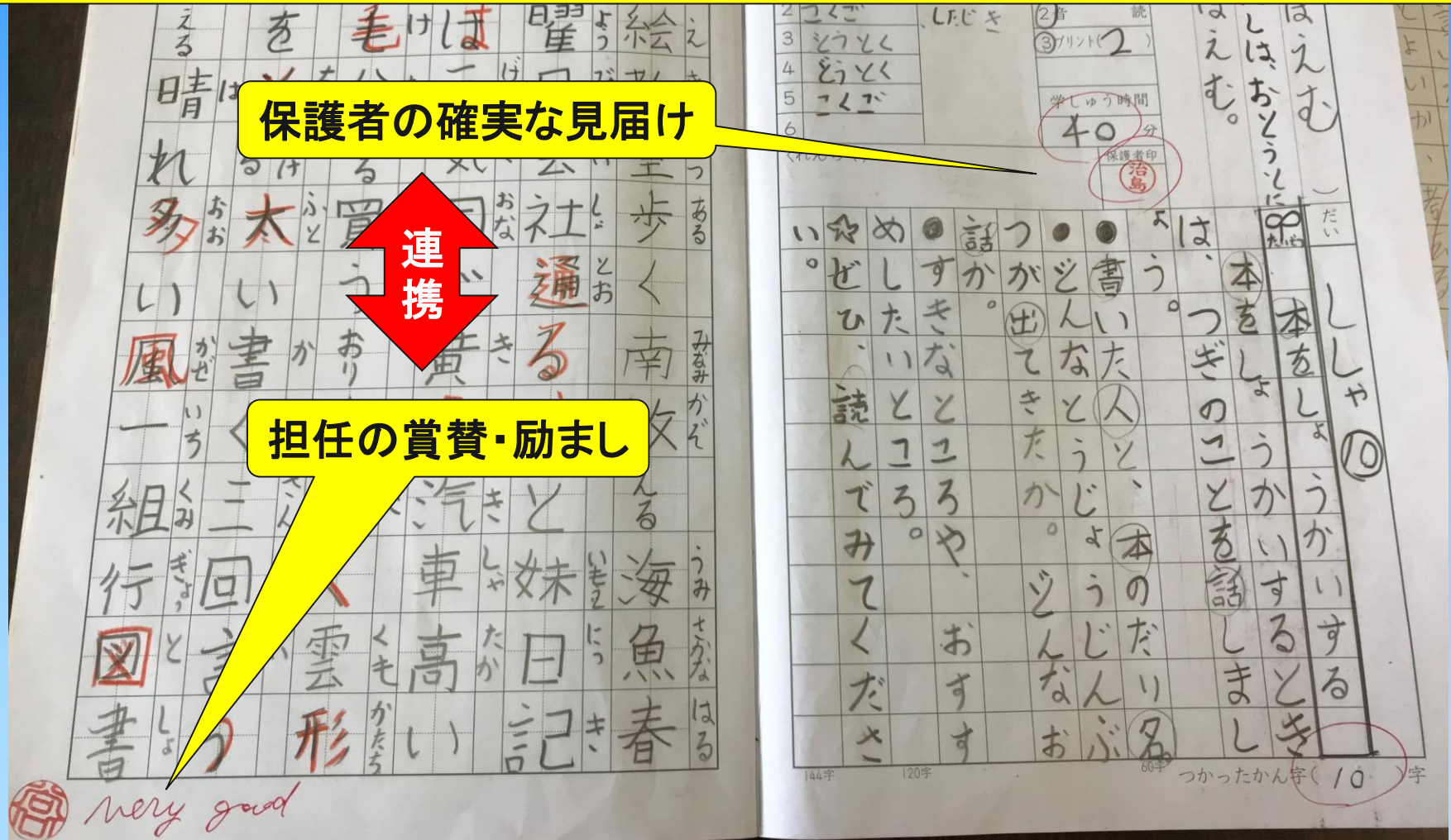
テニ運動会の感心

使った(五十五)字

家庭学習ノートの活用法と様式の見直し

児童の実態に即した家庭学習ノートの様式を見直していく仕組みを構築する。

- 1 低・中・高学年の系統性を常に吟味した様式に改善していく。
- 2 ノーメディアタイム・早寝・早起き・朝ご飯などを振り返る枠を設定する。
- 3 4年生以上にアルファベットの書き方罫線を入れる。 など



終